



「聖地 高野山と有田川上流域を結ぶ
持続的農林業システム」

「みかん栽培の礎を築いた有田みかんシステム」

日本農業遺産に認定

高野山を支えるとともに、平地の少ない有田川上流域の暮らしを發展させた持続的農林業システム。本システムでは、高野六木制度により100を超える木造寺院を維持している。傾斜地での仏花の栽培や畦畔を利用した植物の栽培により、高

- 聖地 高野山と有田川上流を結ぶ 持続的農林業システム
- ・ 団体／高野山・有田川流域世界遺産推進協議会（会長・中山正隆）
- ・ 地域／高野町・かつらぎ町（花園地域）・有田川町（清水地域）

各システムの概要

令和2年（2020年）7月に認定申請した「聖地 高野山と有田川上流域を結ぶ持続的農林業システム」と「みかん栽培の礎を築いた有田みかんシステム」が、農林水産大臣から日本農業遺産に認定されました。これを受け、3月17日（水）に認定授与式がモニターを使用したウェブ形式で行われました。

今後は、「農業遺産 保全計画」に基づくシステムの保全・継承活動により、認定を生かした地域振興に取り組みます。

